

お買物動向調査アンケート報告書 要約版

平成 29 年 1 月 みやぎ北上商工会

1. 買物先の選択理由について ← P5~P6

「最寄り品」の買物先第1位は「近くて便利」、第2位は「品数が豊富」が2大理由。
「買回り品」の買物先第1位は「品揃えが豊富」、第2位は「品質が良い」と続いた。
ふたつのジャンル共に「価格が安い」は第3位となっている。

2. 消費者の購買動向について ← P7~P12

(1) 地元購買率と買物先

地域環境が異なるため、旧4町毎に分析を行った結果、地元購買率は、
「最寄り品」は、中田町 (69.6%)、登米町 (74.2%)、東和町 (6.9%)、津山町 (4.2%)
「買回り品」は、中田町 (15.4%)、登米町 (10.6%)、東和町 (1.0%)、津山町 (1.6%)
「外食」は、中田町 (16.7%)、登米町 (4.9%)、東和町 (0%)、津山町 (5.0%) であった。

(2) 買物先の店舗形態

「最寄り品」の買物先の店舗形態は、地域全体では第1位「大型専門店・量販店・ホームセンター」が40.7%、第2位は「食品スーパー」となっている。
「買回り品」の買物先の店舗形態は、地域全体では第1位「大型専門店・量販店・ホームセンター」が42.4%、第2位は「総合スーパー・百貨店」の順となった。

3. 1か月の最寄り品（食料品・日用雑貨等）にかかる費用について ← P16~P17

全世帯平均の1か月に最寄り品にかかる費用は、「40,001円~60,000円」が38.79%と最も多く、「40,000円以内」が24.24%と続いた。

4. 地域内の一般小売店や専門店に関する質問 ← P17~P19

利用頻度は、週1回以上の利用が約60%であった反面、利用しないも16.57%あった。

5. 家族での外食について ← P20~P23

1か月に外食にかかる費用は、「5,001円~10,000円」が31件と最も多かった。

6. 買物先動向資料 ← P24